

## 前回7月30日の例会記録

### 出席の状況

会員数 50名 (内出席免除 4名) 出席者数 40名 欠席者数 10名

出席率 83.33% 前々回訂正 87.5%

欠席者 藤原, 福元, 日笠, 入江, 鴨井, 木本, 小松原, 竹本, (平野), (市川)

### ビジター

〈岡山RC〉梶谷 俊介 様

### S.A.A.



旧ひな壇一同:旧ひな壇慰労会、仕事の為やむなく欠席された樋口副幹事の分までおいしいお酒をいただき、こちよい開放感の下、肩の荷もおりました。ありがとうございました。



堀川会員

父の葬儀には、ご会葬、またご厚志を賜わり、ありがとうございました。



竹本会員

・本日は例会を欠席致しまして、申し訳ございません。

・南業会員、本日は卓話よろしくお願ひ致します。

・7月24日からクロアチアに旅して来ます。



樋口会員

・先週の旧ひな壇慰労会を欠席してしまい、段取りしてくださった河田親睦委員長、申し訳ありませんでした。花束ありがとうございました。

・藤岡前会長主催の慰労会では、ごちそう様でした。ありがとうございました。

・昨日、倉敷トライアスロンに参加してきました。天候に恵まれ、多くのボランティアの励ましのお陰で、無事完走出来ました。健康な体に感謝します。



河田会員

・先日は、結婚記念の花をありがとうございました。

・先週の夜間例会は、不手際が色々あり、御迷惑をお掛け致しました。色々勉強になりました。次の月見夜間例会は、問題ない様に頑張ります。

・藤岡前会長、ごちそうさまでした。



高橋(峯)会員

前年度100%出席表彰の時、自然体で、今年も100%出席を目指すつもりでしたが、早くも脱落。旧ひな壇慰労夜間例会と会社の行事が重なり、欠席しました。100%が挫折したので、今年度は98%出席率を目指します。



相原会員

本日、月末の大安ということで、仕事が立て込んでおります。就任早々で大変失礼ですが、早退させていただきます。申し訳ございません。



坪井会員

先週の旧ひな壇慰労会を、私の不注意の怪我でドタキャン欠席しまして申し訳ありませんでした。前役員の皆様方、大変御苦勞様でした。



西岡会員

・7月22日、ゴルフコンペにて3位に入賞させて頂き、ニアピンまで取らせて頂きました。

・金土日と、東京・新潟に出張に行ってきました。新潟では、美味しい日本酒を飲んで頂きましたので、スマイルします。

以上,9件 78,000円(累計 228,000円)

### 会長報告

会長 西山 隆三郎

①2690地区森田ガバナー様より2014年~2015年度ガバナーとして、益田ロータリークラブの松本祐二氏を正式に決定との連絡を頂きました。

②京都朱雀ロータリークラブの深田金嗣会長より、表敬訪問とニコニコ寄金のお礼のお手紙を頂いております。寄金は今後社会奉仕活動に使わせて頂きたいとの事をご連絡頂きました。

私事ですが先週東京、仙台と出張に出掛けて参りましたが、本当に猛暑で大変暑い毎日でした。暫くこの猛暑が全国的に続く様です。どうぞ会員の皆様もちろんですが、身近な御高齢の皆様にも熱中症にならない様、気を付けて頂きたいと思っています。

- ・我がクラブの創立会員であり、第4代の会長でもいらっしゃいます市川会員より、退会届が提出されました。これを受けて去る7月17日に緊急の理事役員会を開催し、初代会長・幹事の梶谷会員、高橋(裕)会員の承認をいただくことを条件に、定款第7条第6節に規定される「名誉会員」に推薦することが決議され、梶谷会員、高橋(裕)会員の承認もいただきました。つきましては、次回例会のクラブフォーラムの時間内で、会員皆様の承認をいただきたく上程させていただきますので、ご出席のほどお願いいたします。
- ・国際ロータリー第2690地区森田昭一郎ガバナーより、2013-2014年度派遣交換学生募集のご案内をいただいております。本日の例会内で回覧いたします。
- ・横井和子様より、「新地区補助金奨学生レポート」が届き、会員の皆さんへも配布しております。近々、卓話にもお越しいただく予定ですので、ご一読ください。
- ・西岡会員より、「マルク・シャガール」の美術展の観覧券10枚をご提供いただいております。ご希望の方は、例会の帰りに受付へお申し出ください。

## 例会プログラム

### 内部卓話

#### 「戦艦「大和」の最後に学ぶ」 南葉 幸雄 会員

##### 1. 不沈戦艦の誕生

※世界戦艦として最大、大和の悲劇に日本は何を学ぶか・・・。

- (1)昭和12(1937)年、広島県呉市、起工全長263m、満載排水量72,809t  
昭和16(1941)年12月完成、昭和17年連合艦隊の旗艦に就役。
- (2)昭和16(1941)年12月8日太平洋戦争勃発・米戦艦等8隻沈める。  
飛行機231機破壊。零式戦闘機(零戦)78機参戦。9機失う。大戦果。
- (3)昭和17年6月5日ミッドウェー海戦・日本機動部隊大惨敗。
- (4)戦局視座:制空権なきところに制海権なし。

##### 2. レイテ沖海戦・艦隊対航空機

昭和19年10月24日アメリカ軍フィリピン・レイテ島上陸。日本海軍は大和を含む艦隊、しかし上空を守る航空機の姿なし。日本海軍壊滅状態。レイテ湾を目前にして大和は突入断念。

##### 3. 特攻作戦発令「一億特攻のさきがけとなれ」

- (1)昭和20年4月1日アメリカ軍沖縄に上陸。支援するアメリカ軍の兵力艦船1500隻以上、航空機1700機あまりと圧倒的なもの。
- (2)4月5日「天一号作戦」が発令、目的地は沖縄、片道分の燃料を積み、沖縄に特攻せよ。自ら浅瀬に乗り上げ動かぬ砲台となり、敵の陸上部隊を砲撃せよという作戦。
- (3)伊藤整一第二艦隊司令長官、沖縄特攻作戦に反対。

伊藤長官反対発言要旨「航空部隊の援護が見込めない状態で作戦が成功する見込みはほとんどない。そういう無謀な作戦に7千の将兵の命を懸けるわけにはゆかない」反問「本当のところ我々にどうしてもらいたいのか」答「要するに死んでももらいたい、いづれ一億総特攻ということになる。その模範となるよう立派に死んでももらいたい」即座に「了解した」

##### 4. 大和の沈没。日本海軍滅亡の象徴

昭和20年4月6日出撃。特攻の旨乗組員に告知。4月7日米軍戦力、空母12隻、艦載機約800機、12時すぎ第一次攻撃を受ける。大和の左舷魚雷集中的に命中、午後2:23大和横転、大爆発沈没。九州徳の島西方20海里(約37km)水深430m、今なお3千名余の骸と共に埋没。

##### 5. 大和がいまだ考えさせてくれる教訓

- (1)戦前と戦後のあまりにも激しい歴史観の落差。戦前の歴史をすべて否定し去ることは誤りではなかろうか。国家という存在が希薄でしかも無防備な姿の日本が未来永劫に存在していけるであろうか。
- (2)特攻作戦を検証するには自分ならどうするかの視点が必要である。自分が特攻要員に指令され敵艦に体当たりしろと命令されたときいきなり対応できるものではない。その理由は、①戦争の内実 ②偏頗な愛国教



